

# そうだ、きさいち植物園に行こう！

Let's go to Kisaichi Botanical Garden



2月 ~ 4月



## ヤブツバキ

- 沿岸地や山地に生えるツバキ科の常緑高木
- 花は赤色で、花弁は平開しない
- ユキツバキと違い耐寒性がある

2月 ~ 4月



## ユキツバキ

- 日本海側の山地に生えるツバキ科の常緑低木
- 花弁はヤブツバキより細くて薄い
- 5~6枚の花弁が水平に開く

2月 ~ 4月



## ユキバタツバキ

- ヤブツバキとユキツバキの中間種
- 両種の接触地域に自生する
- 花弁の枚数や形状、色彩等の変異が大きい

2月 ~ 3月



## ミスミソウ

- 落葉広葉樹林に生えるキンポウゲ科の多年草
- 白や淡い紫色の1~1.5cmの花を咲かせる
- 雪の中で開花する様子から別名ユキワリソウ

※気象状況により開花時期は前後します。現在の開花状況は植物園までお問い合わせください。

## トピックス

### 美しい花に欠かせぬ冬の手入れ 温帯スイレン

温帯スイレンは、すべての品種が昼咲きで、日本をはじめとした世界中の温帯地域に自生しています。

植物園では毎年1月末~2月頃にその温帯スイレンの植え替えをしています。その方法は、大量の田土を機械を使わずに水で程よく練り、洗浄した鉢に練りこんだ田土と肥料(油かす等)を入れます。そこに新芽を傷つけないように最小限の切り口で割った根茎を植え付けます。根茎の内部は白く、形状はワサビに似ています。プールの掃除をし、最後に鉢ごと水に沈め、植え替えは完了です。

スイレンの休眠期に株の一部を切り分けるため、寒さが厳しい時期の作業となります。6月~10月にかけて長く楽しめる温帯スイレンですが、鉢で育てているため根詰まり\*を起こしやすく、美しい花を咲かせるためには寒い時期の手入れが欠かせません。

※根詰まり...鉢の中に根が回っていっぱいになり、伸びる余地がなくなった状態



### 大阪市立大学附属植物園(愛称:きさいち植物園)

- ☎ 891-2059 ● 交野市私市 2000 (私市駅徒歩6分)
- HP <https://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/>
- 開園時間 9:30 ~ 16:30 (入園は16:00まで) ● 休園日 月曜日(祝休日の場合は開園)
- 入園料 大人350円/中学生以下無料 ● 駐車料 普通車500円/マイクロ1,000円



## みなさんからいただいた 塗り絵おりひめちゃん



みなさんからいただいた塗り絵作品です。  
幼児~小学生、毎月欠かさず投稿してくれる人、デイサービス利用者のみなさんなど、いろんな人たちからの投稿です。  
塗り絵の投稿は郵送だけでなく、写真を撮ってそのデータを送る方法でもOKです。

✉kouhou@city.katano.osaka.jp

ホームページには、他にもみなさんからの作品を掲載していますので、ぜひご覧ください。  
QRコードまたは検索サイト「塗り絵おりひめちゃん」で検索してください。

